

国際英語・近似カナ・日本語

島岡 丘

はじめに

昨年(2001)の7月、筆者の関係する英語発音表記学会(English Pronunciation and Transcription Association, EPTA)で社会言語学者のDr. Jennifer Jenkinsをお招きした際、直接これからの英語のあるべき姿について10日間にわたって話し合う機会を得た。同女史は今や英語の所有権(ownership)は母語話者よりはむしろ国際英語を駆使する外国の人たちに移っていることを指摘した。すなわち、数の面では、母語話者が3億5千万人に過ぎないが、国際英語使用者はその3倍に当たる11億5千万であるとのことである。すでに日本の英語検定教科書にも棒グラフでその事実が示されている(*Sunshine English Course*(2002), Book 1)。なお、この事実と背景をよく知るには同女史の書いた*The Phonology of English as an International Language*(OUP, 2000)を参照するのが便利である。

同書では従来用いられていたnativeの代わりに、Monolingual English Speaker(MES)を用い、国際通用語としての英語を話す人たちをBilingual English Speaker(BES)を用いることを提案している。さらに、英語の教師はMESよりはBESのほうが優れていると述べている。

日本でも英語は母語話者の英語にあまり捕われずに、国際通用語としての英語は如何にあるべきかを検討し、モデル化を編み出す時期が来ていると思われる。

従来は音声学を閉じられた体系(closed system)として教える傾向があったが、Jenkins女史は新しい音声学は国際的な伝達に支障を来さないような音声の識別に重点をおき、th(/θ/, /ð/)の発音のように/s/や/f/などで代用しても伝達上問題がない場合は発音指導の優先順位を低くし、light[láit]/right[ráit]とか、work[wə:rk]/walk[wɔ:k]などに見られるl/rやə:/ɔ:のような識別上重要な音素は優先順位を高くすることを考慮するのが国際英語としての英語を指導する狙いでなければならないと主張する。つまり、新しい音声学は従来の音声学を無視するのではなくて、重点を社会に

おける言語生活の実態を基盤におくというのが変更点である。

日本語の書記体系はその機能別に次のように区分している。

- ・ 外来語はカタカナを使う。
- ・ 概念上のまとまりを言うときは漢字を用いる。
- ・ それ以外はひらがなを用いる。
- ・ 外国の言葉、駅名地名などはローマ字を併記する。

英語のアルファベット文字の呼び名はローマ字呼びと若干異なる。特に母音文字は少なくとも2通りの読み方があり、それらを正しく捉えるには、IPA(International Phonetic Alphabet)による表記が有効な手がかりとなる。

この小論ではケンブリッジ基本語2000語のうちからすでに日本語として通用している約800語のカタカナ語と基礎的語彙10数個を基にして綴り字と発音記号の関係を明らかにした。

カタカナ語と英語と近似カナ

英語のアルファベット文字は26種類しかないのに、音素は母音が20種、子音が24種あるため、当然ながら、1つの文字が何通りにも読まれることが多い。特に母音文字はaieuoの5種しかないのに、その4倍の20種の母音音素があるため、母音の発音は文字とのずれが多いことが想像される。また、h, r, w, yの4文字は半母音文字と呼ばれるように、子音文字を示したり、母音文字または母音文字の一部として使われることがある。

英語の綴り字は音声と1対1の対応関係があまりはっきりしていないところがあり、自信をもって発音するためには、1音1文字の規則性のある発音記号を活用するのがよい。ここで用いた発音記号はIPA+(IPAに付加記号を加えたもの)である。

記載方式と活用法

左欄は日本語化している英語である。中央欄はその近似カナとIPA+の表記である。前例(島岡, 1999)ではデータがかなり重複しているが, 記述方式を上下4段階方式から左右1線方式に変えて読みやすくした。つまり, 右欄は左欄の英語に対応する日本語のカタカナ語として, 中欄にIPA+方式と近似カナを示した。それらを比較することによって日本語化したカタカナ英語をもとの英語の発音に還元することができると共に, 日本の英語学習者も比較的苦労なく, 日本語化した英語の確認ができるだろう。また, 英語の基本的な語彙を確認することができる。ただし, 綴り字の第1文字を選んだため, 音節頭がCV音節の場合, 第2文字の母音の種類については取り上げていない。

□Aで始まるカタカナ語

A a[éi æ ə ɑ: ɪ]

1. [éi エイ]

age	[éidʒ]	エイヂュ	] エージ
name	[néim]	ネイム	] ネーム
game	[géim]	ゲイム	] ゲーム
same	[séim]	セイム	] セーム

2. [æ エア]

accident	[æk.sɪ.dənt]	エアクシダント	] アクシダント
act	[ækt]	エアクト	] アクト
action	[æk.fɪn]	エアクション	] アクション
active	[æktɪv]	エアクティヴ	] アクティブ
afternoon	[æf.tə(r).nu:n]	エアフタヌーン	] アフタヌーン
alcohol	[æl.kə.hɒl]	エアウカハーウ	] アルコール
alphabet	[æf.ə.bet]	エアウフアベト	] アルファベット
animal	[æn.ə.ml]	エアナムウ	] アニマル
apple	[æpl]	エアップル	] アップル
atom	[æt.əm]	エアトム	] アトム
average	[æv.ə.rɪdʒ]	エアヴァ・ウリヂュ	] アバレージ

◆1-1 日本語は長母音を用いるので, 2重母音化する: J[e:]→E[éi]

◆1-2 ageは「エイヂュ」ヂとジの区別をする。

◆1-3 「ヂュ」と最後に「ユ」をつけたのは, 円唇を伴うことを表すためと, 「ヂ」とすると, [dʒi]のように余分な母音がつくの避けるため。

◆2-1 介入母音: 日本語はCVCV...の開音節が基本となっているが, 英語ではCVだけでなく, CVCの開音節構造がある。日本語話者はac(u)cident(o)などのように母音を介入させる傾向があ

る。英語には子音で終わる閉音節と子音の連結があるので, それらの音声特徴を獲得するには, 近似カナ表記を活用することが望ましい。

◆2-2 音節の切れ目: animalは英語ではan.i.məlであるが, 日本語話者はa.ni.ma.luと解釈する傾向がある。同様に, a.l(u).coho.l(u), a.l(u).pha.be.t(o)に注目。

◆2-3 母音変化: 「ア」→[æ エア]

日本語には「アイウエオ」の5つの母音に単純化されてしまっているために, 英語の前母音低位の/æ/は「エア」で表記する。

3. [ə ア, ウ]

achieve	[ə.tʃi:v]	ウチユイーヴ	] アチーブ
address	[ə.drɛs]	ウヂュレエス	] アドレス
adjust	[ə.dʒʌst]	ウヂャスト	] アジャスト
adult	[ə.dʌlt]	アダウト	] アダルト
advance	[əd.væns]	アドヴェアンス	] アドバンス
advantage	[əd.væn.tɪdʒ]	アドヴェアンティヂュ	] アドバンテージ
advice	[əd.váɪs]	アドヴァイス	] アドバイス
again	[ə.gén]	ウゲンズ	] アゲイン
apartment	[əpˈɑ:rt.mənt]	アパアトムント	] アパートメント
approach	[ə.pˈrɒʊtʃ]	ウプロウチュ	] アプローチ
announce	[ə.náʊns]	アナウンス	] アナウンス
arrange	[ə.réɪndʒ]	ウレインヂュ	] アレンジ
attack	[ə.tʰæk]	アテアク	] アタック
attract	[ə.tʰrækt]	ウチュエアクト	] アトラクト
attractive	[ə.tʰræktɪv]	ウチュエアクティヴ	] アトラクティブ

available [ə.véɪ.ə.bl] アヴェイユラブル] アベラブル

◆3 弱音の[ə]は後続音が円唇を伴う場合, また奥舌音のときさらに唇音の場合は「ア」よりはむしろ「ウ」のほうが英語の原音に近い。achieve, address, adjust, arrange, attractは円唇を伴う場合であり, againは奥舌音/g/が後続する場合である。

4. [ɑ: アオー]

all	[ɑ:l]	アオーウ	] オール
arch	[ɑ:(r)tʃ]	アオーアチュ	] アーチ
art	[ɑ:(r)t]	アオーアート	] アート
artificial	[d:(r)..tɪ.fɪ.əl]	アオーティウ°イシユウ	] アーティフィシャル
authority	[ɑ:θá:rə.ti]	アオースアーウラティ	]

オーソリティ
automatic [d̥i:tə.mæt.ɪk アオータメアティク]

オートマチック

◆4-1 アメリカ英語として[ɑ:]としているのは、EPD(1997)、CIDE(1995)などであるが、all、au-などは[ɔ:]を用い、[ɑ:]と区別している人もいる。特にアメリカ東部に住む人または東部出身者に多い。

◆4-2 日本の英和辞典並びに多くの教科書に掲載されている発音記号は、英語と米語との共通面を強調しようという動機があるために、allとhotなどの母音を区別して表記しようとする。しかし、単純なほうが学習負担が少なく、また覚えやすいので、EPD(1997)の方式に従う。両発音の違いは円唇の有無である。米音の方は唇を丸めないのに対して、イギリス英語の方は唇を丸める。

5. [ɪ]

language [læŋ.gwɪdʒ スレアンゲウイエヂュ] ランゲージ

damage [dæm.ɪdʒ デアミエヂュ] ダメージ

image [ɪm.ɪdʒ イミエヂュ] イメージ

◆aはアクセントがないときは[ɪ]になることが多い。類例:village, carriage, marriage, foliage, spinach.

6. その他(rが後につくとa-rで「エア」のようになる。アクセントがない場合、例えば、areは[ə]になることがある。

air [er エア] エア

airport [ér.pɔ:rt エアポーアト] エアポート

area [ér.i.ə エア・ウリア] エリア

care [k^he(r) ケア] ケア

□Bで始まるカタカナ語

B b[b 黙字] [bl-, br-[bl-, br-]]

bはすべて[b]と発音される。例外はないが、doubt, lambなどのように黙字になることが希にある程度である。bombは形容詞になるとbombasticとなり、bは発音することに注目したい。

1. b[b-]

baby [béi.bi ベイビィ] ベービー

back [bæk ベアク] バック

background [bæ̀k.graund ベアクグウラウンド]

バックグラウンド

bacteria [bæ̀tér.i.ə バクテア・ウリア] バクテリア

bag [bæg ベアグ] バッグ

balance [bæ̀l.əns ベアウ・スルンス] バランス

ball [ba:l バオーウ] ボール

bank [bæŋk ベアンク] バンク

bar [ba:(r) バオーア] バー

base [béis ベイス] ベース

baseball [béis.bò:l ベイスバーウ] ベースボール

basic [béi.sɪk ベイスィエック] ベーシック

bath [bæθ ベアス] バース

◆bathはイギリスでは[bɑ:θ バオース]のように言う。

bathroom [bæ̀θ.ru:m ベアスウルーム] バースルーム

beach [bi:tʃ ビーチュ] ビーチ

beat [bi:t ビート] ビート

beauty [bjú:.ti ビューティ] ビューティ

bed [bed ベエド] ベッド

bedroom [béd.ru:m ベエドゥルルーム] ベッドルーム

bee [bi: ビー] ビー

bell [bel ベウ] ベル

belt [belt ベウト] ベルト

bicycle [bái.sɪ.kl バイスィクウ] バイク

big [bɪg ビエグ] ビッグ

bird [bə:(r)d バエード] バード

birth [bə:(r)θ バエーハス] バース

biscuit [bís.kət ビスケイト] ビスケット

board [bɔ:(r)d ボオーアド] ボード

boat [bóut ボウト] ボート

body [bá:.di バオーディ] ボディ

boil [bóɪl ボイウ] ボイル

bomb [bɑ:m バオーム] ボム

bone [bóun ボウンヌ] ボーン

book [buk ブオク] ブック

boot [bu:t ブート] ブーツ

bottle [bá:.tl バオートウ] ボトル

bottom [bá:.təm バオートム] ボトム

bounce [báuns バウンス] バウンス

bowl [bóul ボウウ] ボウル

box [bɑ:ks バオークス] ボックス

boxing [bá:k.sɪŋg バオークスィング] ボックスィング

boy [bóɪ ボオイ] ボーイ

bubble [báb.l ブアブウ] バブル

build [bɪld ビウド] ビルド

building [bɪl.dɪŋg ビウディング] ビルディング

burn [bə:rn バエーラヌ] バーン

bus [bʌs ブアス] バス

bush	[buʃ]	ブッシュ	] ブッシュ
business	[biz.nəs]	ビジネス	] ビジネス
butter	[bʌt.ə(r)]	バター	] バター
button	[bʌt.n]	ボタン	] ボタン
buy	[baɪ]	バイ	] バイ

2. [bl]+V

black	[blæk]	ブラック	] ブラック
blade	[bleɪd]	ブレイド	] ブレード
block	[blɔ:k]	ブロック	] ブロック
blow	[blóu]	ブロウ	] ブロー
blue	[blu:]	ブルー	] ブルー

◆[bl]+Vは介入母音(ここではu)が加わって*[bVl]+Vとなりやすい。これを防ぐには、/b/の発声と同時に舌先が歯茎についておくようにさせるとよい。視覚で捉えやすくするには、[bl-]のように表示し、次のように説明する。

- 1 両唇の動きと舌先の動きは互いに独立して動く。
- 2 [bl]の連続でははじめに舌先の動きがある。
- 3 [b]の発音をするときには舌先は既に歯茎につけている。

3. [br]+V

brain	[bréɪn]	ブレイン	] ブ레인
branch	[bræntʃ]	ブランチ	] ブランチ
break	[bréɪk]	ブレイク	] ブレイク
breast	[brɛst]	ブレスト	] ブレスト
brick	[brɪk]	ブリック	] ブリック
bridge	[brɪdʒ]	ブリッジ	] ブリッジ
bright	[bráɪt]	ブライイト	] ブライイト
brother	[brʌð.ə(r)]	ブラザー	] ブラザー
brown	[bráun]	ブラウン	] ブラウン
brush	[brʌʃ]	ブラッシュ	] ブラシ

◆/br/+Vの音節構造は日本語になると、介入母音が子音連結中に入り、*[bVr]+Vになりがちである。これを防ぐには、r音のrを落とせば舌先が口蓋に付かなくてすむ。子音連結でrを落として発音するという理由は、音声分析機(sound spectrograph)による音声分析によって明らかである。

□Cで始まるカタカナ語

C c[s-, k-] ch[t-, k-]

cはi, e, yの前では、[s]と発音される。それ以外は[k]と発音される(参照:<c>1)。そのほかに、chで始まる語が若

干ある。chは3[tʃ]または、4[k]と発音される。

1. [s ス]

cell	[sel]	セウ	] セル
central	[sén.trəl]	センチュアウ	] セントラル
centimeter	[sén.tɪ.mì:.tə(r)]	センチミラー	] センチメートル

century	[sén.tʃə.ri]	センチュリイ	] センチュリー
ceremony	[sér.ɪ.mòu.ni]	セ・ウレモウネイ	] セレモニー
circle	[só:r.kl]	サー・ク	] サークル
cigarette	[sɪg.ə.rét]	スイガウレット	] シガレット
cinema	[sín.ə.mə]	スイナマ	] シネマ
city	[sít.i]	スイティ	] シティ
cylinder	[sɪl.ɪn.də(r)]	スイウリンダ	] シリンダー

◆<center>と<canter>と比較すると、単に<e>と<a>が異なるのではなく、母音の種類が先行する<c>の音質まで変えてしまうことに注目する。

2. [k- ク]

cage	[kʰéɪdʒ]	ケイヂュ	] ケージ
cake	[kʰéɪk]	ケイク	] ケーキ
calculate	[kʰæl.kjə.lèɪt]	ケアウ・キュウ・レイト	] キャルキュレーター

call	[kʰɑ:l]	カ・ウ	] コール
camera	[kʰæm.ə.rə]	ケアム・ウラ	] カメラ
candle	[kʰæn.dl]	ケアンドウ	] キャンドル
capital	[kʰæp.ɪ.tl]	ケアピロウ	] キャピタル
car	[kʰɑ:r]	カ・ア	] カー
carbon	[kʰɑ:(r).bən]	カ・ア・ブンス	] カーボン
card	[kʰɑ:(r)d]	カ・ア・ド	] カード
case	[kʰéis]	ケイス	] ケース
castle	[kʰæs.l]	ケアスウ	] キャスル
cat	[kʰæt]	ケア・ト	] キャット
catch	[kʰætʃ]	ケアチュ	] キャッチ
class	[kʰlæs]	クラス	] クラス
clay	[kʰléɪ]	クレイ	] クレー
clock	[kʰlɔ:k]	クラス・ク	] クロック
coal	[kʰóul]	コウ	] コール
coast	[kʰóust]	コウスト	] コースト
coat	[kʰóut]	コウト	] コート
coffee	[kʰáf.ɪ]	カ・ウ・イ	] コーヒー
coin	[kʰóɪn]	コイン	] コイン
collar	[kʰáf.ɪlə(r)]	カ・ウ・ラ	] カラー
collect	[kə.lékt]	ク・レ・クト	] コレクト
college	[kʰáf.ɪdʒ]	カ・ウ・リ・ヂュ	] カレッジ

color	[kʰɹɹ.ɹ]	カスラァ	]	カラー
column	[kʰɹɹ.ɹm]	カスラム	]	カラム
combine	[kəm.báɪn]	カンバインス	]	コンバイン
comma	[kʰá:..mə]	カオーマァ	]	コンマ
common	[kʰá:..mən]	カオーマンズ	]	コモン
communicate	[kə.mjʊ:..nə.kètt]	クミューウナケイト]		
				コミュニケイト
companion	[kəm.pʰæn.i.ən]	クムペアネイアンズ]		
				カンパニオン
company	[kʰɹm.pə.ni]	カンパネイ	]	カンパニー
compass	[kʰɹm.pəs]	クアンパス	]	コンパス
computer	[kəm.pʰjʊ:..tə(r)]	クムピューター]		コンピューター
concrete	[kʰá:..n.kri:t]	カオーンクウリート]		コンクリート
condition	[kən.dɪf.jən]	クンディシユンズ]		

コンディション

connect	[kə.nékt]	クネクト	]	コネクト
constant	[kʰá:..n.stənt]	カオーンスタント]		コンスタント
control	[kən.tʰróʊl]	クンチュオウウ]		コントロール
cook	[kʰʊk]	クウク	]	クック, コック
copy	[kʰá:..pi]	カオーピー	]	コピー
cord	[kʰɹ:..(r)d]	コード	]	コード
corner	[kʰɹ:..(r).nə(r)]	コオーナァ	]	コーナー
cost	[kʰá:..st]	カオースト	]	コスト
count	[kʰá:..nt]	カウント	]	カウント
court	[kʰɹ:..(r)t]	コート	]	コート
cover	[kʰɹv.ə(r)]	カヴァ	]	カバー
cream	[kʰri:m]	クウリーム	]	クリーム
create	[kri.étt]	クウリエイト]		クリエイト
cricket	[kʰrɪk.ɪt]	クウリケイト]		クリケット
crop	[kʰrə:p]	クウラープ	]	クロップ
cross	[kʰá:..s]	クウラース	]	クロス
crush	[kʰrʌʃ]	クウラシュ	]	クラシュ
cry	[kʰráɪ]	クウライ	]	クライ
culture	[kʰɹɹ.tʃə(r)]	クアウチュァ]		カルチャー
cup	[kʰʌp]	クアプ	]	カップ
current	[kʰá:..rənt]	カエ〜ウルント]		カレント
curtain	[kʰá:..r.tn]	カエ〜トンズ]		カーテン
curve	[kʰə:..(r)v]	カエ〜ヴ]		カーブ
custom	[kʰɹstəm]	クアスタム]		カスタム
cut	[kʰʌt]	クアト]		カット

3. <ch>[tʃ- チュ]

chain	[tʃʰéɪn]	チュエインズ	]	チェーン
chair	[tʃʰer]	チュエァ]		チェア

chance	[tʃʰæns]	チュエアンズ	]	チャンス
change	[tʃʰéɪndʒ]	チュエインヂュ]		チェンジ
channel	[tʃʰæn.l]	チュエヌウ]		チャネル
charge	[tʃʰɑ:..(r)dʒ]	チュアオーヂュ]		チャージ
charm	[tʃʰɑ:..(r)m]	チュアアーム]		チャーム
chase	[tʃʰéis]	チュエイズ]		チェイス
cheap	[tʃʰi:p]	チュイーブ]		チープ
chess	[tʃʰes]	チュエズ]		チェス
chest	[tʃʰest]	チュエスト]		チェスト
chicken	[tʃʰɪk.n]	チュエイクンズ]		チキン
chocolate	[tʃʰá:..kə.lət]	チュアオーカズレト]		チョコレート
choice	[tʃʰóɪs]	チュオイス]		チョイス
church	[tʃʰə:..(r)tʃ]	チュアエ〜チュ]		チャーチ

4. <ch>[k ク]

character	[kʰæɹ.ɪk.tə(r)]	ケア・ウラクタァ]		キャラクター
chemical	[kʰém.ə.kl]	ケマクウ]		ケミカル

□Dで始まるカタカナ語

D d[d-] dr[dʒr-]

Dはすべて[d]の発音になる。具体例は次のようになる。発音で注意すべきは英語のdはそのあとに/i:, I, u:, U/のような高位母音が来ると、歯茎に舌先だけがつくのに対し、日本語では舌先だけでなく前舌がつくという特徴的な差があることに注意する必要がある。

drの子音連結の発音は日本語にない。日本語では子音の後はずぐ母音がつくため、drの途中にoを入れてdreamではなく、*doreamのようにしがちである。以下の表は、1. [d-], 2. [dr-]となっている。

1. <d>[d-]

damage	[dæm.ɪdʒ]	デアメイヂュ]		ダメージ
dance	[dæns]	デアンス]		ダンス
date	[détt]	デイト]		デート
decorate	[dék.ə.rètt]	デカウレイト]		デコレート
delicate	[déɪ.ɪ.kət]	デュズリエカト]		デリケート
demand	[dɪ.mænd]	ディメアンド]		デマンド
department	[dɪ.pʰá:..(r)t.mənt]	ディパートメント]		デパートメント

design	[dɪ.záɪn]	ディザインズ]		デザイン
develop	[dɪ.vél.əp]	ディヴェウ・ラプ]		デベロッパ
digest	[daɪ.dʒést]	ダイヂェスト]		ダイジェスト
direct	[dɪ.rékt]	ディウレクト]		ダイレクト
direction	[dɪ.rék.fɪn]	ディウレクシユンズ]		ディレクション

disc	[dɪsk	ディスク	] ディスク
discover	[dɪ.skʌv.ə(r)	ディスカヴァー	] ディスカバー
discuss	[dɪ.skʌs	ディスカス	] ディスカス
dish	[dɪʃ	ディシュ	] ディシュ
doctor	[dɒ:k.tə(r)	ドクター	] ドクター
document	[dɒ:k.ju.mənt	ドキュメント	] ドキュメント
dog	[dɒ:g	ドッグ	] ドッグ
door	[dɔ:(r)	ドア	] ドー

2. <dr>[dʒr- デュ]

dream	[dʒri:m	デュリーム	] ドリーム
dress	[dʒress	デュレス	] ドレス
drink	[dʒrɪŋk	デュリエンク	] ドリンク
drive	[dʒraɪv	デュライヴ	] ドライブ
drop	[dʒrɔ:p	デュラップ	] ドロップ
drug	[dʒrʌg	デュラゲ	] ドラッグ
drum	[dʒrʌm	デュラム	] ドラム
dry	[dʒraɪ	デュライ	] ドライ

□Eで始まるカタカナ語

E e[i:, e, ɪ]

Eは母音文字で名称音で[i:]、基本音で[e]と発音する。どちらを選ぶかは後続する音によって決まるので予測することがある程度できる。つまり、後続音の子音の次にeがあれば、eの呼称の[i:]と発音する(例: eve, extreme)。

一方、後続音が子音だけであれば、[e]となる(例: egg, end)。

英語では[e]で終わる音節はなく、短母音の[e]のあとには必ず一つ、またはそれ以上の子音がつく。ただし、アクセントがなければ[i]になる(例: Ex. export, exchange)。その他、4-1 ea[i:] 4-2 [ɛɪ]を取り上げる。

また、rがつく例として、5-1 ear[ɪə(r)], 5-2 ear[ə:(r)], 5-3 ear[ɑ:(r)]を順次取り上げる。

1. [i: イー]

extreme	[ɪk.strɪ:m	イクスチュリーム	] エクストリーム
---------	------------	----------	-----------

2. [e エ]

edge	[edʒ	エヂュ	] エッジ
egg	[eg	エッゲ	] エッグ
eight	[éɪt	エイト	] エイト
end	[end	エンド	] エンド
energy	[éɪnə(r).dʒɪ	エネアヂエイ	] エネルギー
engine	[én.dʒɪn	エンヂエンジン	] エンジン

exercise	[ék.sə(r).sàɪz	エクササイズ	] エックササイズ
expert	[éks.pə(r)t	エクスパート	] エキスパート
extra	[ék.strə	エクストラ	] エキストラ

3. [ɪ]

exchange	[ɪks.tʃɛɪndʒ	イクスチュエインヂュ	] エクスチェンジ
----------	--------------	------------	-----------

excite	[ɪk.sáɪt	イクサイト	] エクスサイト
excuse	[ɪk.skju:z	イクスキューズ	] エックスキューズ

4-1. ea[i:]

eat	[i:t	イート	] イート
easel	[í:zl	イーゼル	] イーゼル

4-2. [ɛɪ]

eight	[éɪt	エイト	] エート
-------	------	-----	-------

5-1. ear[ɪə(r), eə(r)]

ear	[ɪə(r)	イエア	] イア
-----	--------	-----	------

5-2. ear[ə:(r)]

early	[á:(r).li	アエ〜スリイ	] アーリー
-------	-----------	--------	--------

□Fで始まるカタカナ語

F f[f]

[f]の音は唇歯音で摩擦によって出る音だが、日本語にはこの音がなく、それに近い音は「フ」である。ただし、この音は両唇摩擦音なので、[ɸ]の記号で表す音である。そこで「ヴ」が[v]を表すならば「ウ°」を[f]を表すものとしてもよいわけである。fl-とfr-の違いが英語では必要な区別である。fl-, fr-を自然に出すにはful-のように途中に母音を介入させないことが必要である。それを可能にするには、[f]を言うときすでに、舌先を[l], [r]の構えにしておくといよい。その状態でflyとfryを区別しやすくする。

Fについては、1. [f-], 2. [fl-], 3. [fr-]のように区分したい。

1. <f>[f- ウ°]

family	[fáem.ɪ.li	ウ°エアムスリイ	] ファミリー
farm	[fɑ:(r)m	ウ°アーム	] ファーム
fashion	[fáɪʃ.n	ウ°エアシュンヌ	] ファッション
fast	[fæst	ウ°エアスト	] ファースト

father	[fɑ:ðə(r)]	ウ°アーザア	] ファーザー
fence	[fens]	ウ°エンス	] フェンス
fibre	[fáɪ.bə(r)]	ウ°アイバア	] ファイバー
field	[fi:ld]	ウ°イーウド	] フィールド
fight	[fáɪt]	ウ°アイト	] ファイト
film	[fɪlm]	ウ°エウム	] フィルム
final	[fáɪ.nɪ]	ウ°アイヌウ	] ファイナル
finance	[fɪ.næns]	ウ°アイネアンス	] ファイナンス
finger	[fɪŋ.gə(r)]	ウ°イエンガア	] フィンガー
finish	[fɪn.ɪʃ]	ウ°イネイシュ	] フィニッシ
fire	[fáɪ.ə(r)]	ウ°アイア	] ファイア
first	[fɜ:(r)st]	ウ°アエースト	] ファースト
fit	[fɪt]	ウ°イェト	] フィット
five	[fáɪv]	ウ°アイヴ	] ファイブ
food	[fu:d]	ウ°ード	] フード
foot	[fʊt]	ウ°オト	] フット
football	[fúʊt.bɔ:ld]	ウ°オトバーウ	] フットボール
fork	[fɔ:(r)k]	ウ°オーク	] フォーク
form	[fɔ:(r)m]	ウ°ォーム	] フォーム
formal	[fɔ:(r).ml]	ウ°ォームウ	] フォーマル
forward	[fɔ:(r).wə(r)d]	ウ°ォーフド	] フォワード
four	[fɔ:(r)]	ウ°ォーア	] フォー
full	[fʊl]	ウ°ォウ	] フル
fur	[fɜ:(r)]	ウ°ァエ〜ア	] ファー

2. <fl>[fl- ウスル]

flag	[flæg]	ウ°スレアケ	] フラグ
flight	[fláɪt]	ウ°スライト	] フライト
flower	[fláʊ.ə(r)]	ウ°スラウア	] フラワー
fly	[fláɪ]	ウ°スライ	] フライ

3. <fr>[fr- ウル]

frame	[fréɪm]	ウ°ウレイム	] フレーム
free	[fri:]	ウ°ウリー	] フリー
fresh	[freʃ]	ウ°ウレシュ	] フレッシュ
front	[frʌnt]	ウ°ウラント	] フロント
fruit	[fru:t]	ウ°ウルート	] フルーツ
fry	[fráɪ]	ウ°ウライ	] フライ

□Gで始まるカタカナ語

G g[g, d]

Cの文字は[s]か[k]になるかは規則的だったが、Gはやや不規則である(cf. Niger-tiger)。1. [g]になる場合と、2. [dʒ]になる場合とがある。データを整理してみよう。発

音する際、[dʒヂュ]と[ʒジュ]と混乱しないようにしよう。また、3. [gl]と4. [gr]の子音連結を正しく発音しよう。3.の[gl]はglad, English, Englandなどに用いられる発音である。

1. <g>[g- グ]

game	[géɪm]	ゲイム	] ゲーム
garden	[gá:(r).dn]	ガードンズ	] ガーデン
gas	[gæs]	ゲアス	] ガス
gate	[géɪt]	ゲイト	] ゲート
get	[get]	ゲェト	] ゲット
girl	[gə:(r)l]	ガエ〜ウ	] ガール
give up	[gɪv ʌp]	ギヴウッ	] ギブアップ
go	[góʊ]	ゴウ	] ゴー
goal	[góʊl]	ゴウウ	] ゴール
gold	[góʊld]	ゴウウド	] ゴールド
golf	[gɔ:lf]	ゴアオウウ°	] ゴルフ
good	[gʊd]	グオド	] グード
goodbye	[gʊdbáɪ]	グバイ	] グッドバイ
guard	[gɑ:(r)d]	ガオード	] ガード
guest	[gest]	ゲスト	] ゲスト
guitar	[gi.tá:(r)]	ギターア	] ギター
gun	[gʌn]	グアンズ	] ガン

2. <g>[dʒ- チュ]

gentle	[dʒén.tl]	ヂェントウ	] ジェントル
--------	-----------	-------	---------

3. <gl>[gl- グスル]

glass	[glæs]	グスレアス	] グラス
-------	--------	-------	-------

4. <gr>[gr- グウル]

gram	[græm]	グウレアム	] グラム
grammar	[græm.ə(r)]	グウレアマア	] グラマー
grass	[græs]	グウレアス	] グラス
green	[grɪ:n]	グウリーーンズ	] グリーン
gray	[gréɪ]	グウレイ	] グレー
ground	[gráʊnd]	グウラウンド	] グランド
group	[gru:p]	グウルーブ	] グループ

□Hで始まるカタカナ語

H h[h, Ø]

hは1発音されるか、2発音されないかのどちらかである。honestなど発音されないが、日本語に借用語として入っていないので、ここでは取り上げていない。

1. <h>[h ハ]

hair	[hə(r)]	ヘア	]ヘア
hairstyle	[hɛr.staɪl]	ヘアスタイウ	]ヘアスタイル
half	[hæf]	ヘアウ°	]ハーフ
hammer	[hæm.ər]	ヘアマア	]ハンマー
hand	[hænd]	ヘアンド	]ハンド
handle	[hæn.dl]	ヘアンドウ	]ハンドル
happy	[hæp.i]	ヘアピイ	]ハッピー
hard	[hɑ:(r)d]	ハオーアド	]ハード
hat	[hæt]	ヘアト	]ハット
head	[hed]	ヘエド	]ヘッド
health	[heltθ]	ヘウス	]ヘルス
heart	[hɑ:(r)t]	ハオーアト	]ハート
heat	[hi:t]	ヒート	]ヒート
heel	[hi:l]	ヒーウ	]ヒール
hello	[hə.lóu]	ハズロウ	]ハロー
help	[help]	ヘウプ	]ヘルプ
high	[háɪ]	ハイ	]ハイ
hip	[hɪp]	ヒエプ	]ヒップ
hit	[hit]	ヒエト	]ヒット
hobby	[háɪ.bi]	ハオービイ	]ホビー
hold	[hóuld]	ホウウド	]ホウルド
hole	[hóul]	ホウウ	]ホール
home	[hóum]	ホウム	]ホーム

homosexual[hóu.mou.sék.fu.əl ハーモウセクシュアウ]

ホモセックシュアル

hook	[hʊk]	フオク	]フック
hope	[hóup]	ホウプ	]ホープ, ホウプ
horizon	[hou.ráɪ.zn]	ハウライズンズ	]ホライゾン
horn	[hɔ:(r)n]	ホーアンズ	]ホーン
hot	[hɑ:t]	ハオート	]ホット
hotel	[hou.tél]	ホウテウ	]ホテル
house	[háus]	ハウス	]ハウス
humor	[hú:.mə(r)]	ヒューマア	]ユーモア
hunger	[hʌŋ.gə(r)]	ハンガア	]ハンガー
hurry	[hʉ:.ri]	ハエ〜ッリイ	]ハリー
husband	[hʌz.bənd]	フアズバンド	]ハズバンド

2. <h>[none なし]

herb	[ə:(r)b]	アエーアブ	]ハーブ
------	----------	-------	------

□Iで始まるカタカナ語

I i[ái i]

Iは母音文字であるから名称音の1[ái]と基本音の2[i], それに、弱音の3[i]に分かれる。

1. <i>[ái アイ]

ice	[áɪs]	アイス	]アイス
idea	[aɪ.dí.ə]	アイディア	]アイディア
iron	[áɪə.rən]	アイ・ウランズ	]アイロン
island	[áɪə.lənd]	アイウ・ズランド	]アイランド

2. <i>[I イエ]

image	[ím.idʒ]	イエメイヂユ	]イメージ
ink	[ɪŋk]	インク	]インク
inside	[ɪn.sáɪd]	イエンスайд	]インサイド
international	[ɪn.tər.næf.ə.nl]	イエンネアネアシユウ]	インターナショナル

3. <i>[I イ]

imagine	[ɪ.mædʒɪn]	イメアヂユンズ	]イマジン
informal	[ɪn.fɔ:(r).ml]	インウ°オーアムウ]	インフォーマル
instruct	[ɪn.strʌkt]	インスチュアクト]	インストラクト
intelligence	[ɪn.télɪ.dʒəns]	インテウズリヂユンス]	インテリジェンス
irregular	[ɪ.rég.ju.lə(r)]	イウレギユウズラア]	イレギュラー

□Jで始まるカタカナ語

J j[dʒ]

語頭のJは例外なく同じ[dʒ]の音である。日本語の「ジ」よりは「ヂ」と対応させるほうがよい。その理由は「ジ」は破擦音が摩擦音かはっきりとしないからである。

1. <j>[dʒ- ギュ]

jacket	[dʒækt]	ヂュエアケイト	]ジャケット
jazz	[dʒæz]	ヂュエアズ	]ジャズ
jewel	[dʒú:.əl]	ヂューウウ	]ジュール
join	[dʒɔɪn]	ヂュオインス	]ジョイン
joint	[dʒɔɪnt]	ヂュオイント	]ジョイント
joke	[dʒók]	ヂュオウク	]ジョウク
judge	[dʒʌdʒ]	ヂュアヂュ	]ジャジ
juice	[dʒu:s]	ヂュース	]ジュース
jump	[dʒʌmp]	ヂュアンブ	]ジャンプ

□Kで始まるカタカナ語

K k[k]

語頭のkは例外なく[k]の音であるが、後続音が[n]の時はkが黙字(silent letter)となる。kで始まる語は英語に少ない。その理由はcで始まる[k]の音が多いせいもある。

1. <k>[k- ク]

keep	[k ^h i:p]	キープ	] キープ
key	[k ^h i:]	キー	] キー
keyboard	[k ^h i:.bð:(r)d]	キーボード	] キーボード
kick	[k ^h Ik]	キック	] キック
kilogram	[k ^h fl.ougræm]	キログラム	
kilometer	[k ^h fl.ou.mi:.tə(r)]	キロメートル	

king	[k ^h ɪŋ]	キング	] キング
kiss	[k ^h Is]	キス	] キス
kitchen	[k ^h ɪtʃ.n]	キッチン	] キチン

2. <kn>[n-]

knife	[náɪf]	ナイフ	] ナイフ
knock	[nɑ:k]	ノック	] ノック

□Lで始まるカタカナ語

L I[l-]

語頭のlは例外なく[l]と発音される。人によって暗いl (dark l)で発音する人と母音の前のlに限って明るいl(light l)で発音する人がいるが、一般にアメリカ英語はdark lのものが多くいわれている。

last	[læst]	ラスト	] ラースト
leather	[léð.ə(r)]	レザー	] レザー
left	[left]	レフト	] レフト
lemon	[lém.ən]	レモン	] レモン
letter	[lét.ə(r)]	レター	] レター
level	[lév.l]	レベル	] レベル
life	[láɪf]	ライフ	] ライフ
lift	[lɪft]	リフト	] リフト
limit	[lím.lɪt]	リミット	] リミット
line	[láɪn]	ライン	] ライン
lion	[láɪ.ən]	ライオン	] ライオン
liquid	[lík.wɪd]	リキッド	] リキッド
list	[lɪst]	リスト	] リスト
litre	[lít.ə(r)]	リットル	] リットル
liv(ing)	[lɪv(ɪŋ)]	リビング	] リビング
local	[lóu..kl]	ローカル	] ローカル
lock	[lɑ:k]	ロック	] ロック
love	[lʌv]	ラブ	] ラブ
low	[loʊ]	ロウ	] ロウ
luck(y)	[lʌk.(i)]	ラッキー	] ラッキー
luxury	[lʌg.zu.ə.ri]	ラグジュアリー	] ラグジュアリー

□Mで始まるカタカナ語

M m[m-]

語頭のMは例外なく[m]と発音される。むずかしく言えばmは両唇鼻音ということになる。

machine	[mə.ʃi:n]	マシーン	] マシーン
mag zine	[mæg.ə.zi:n]	マガジン	] マガジン
magic	[mædʒ.ɪk]	マジック	] マジック
magnet	[mæɡ.net]	マグネット	] マグネット
main	[méɪn]	メイン	] メイン
manage	[mæn.ɪdʒ]	マネジ	] マネジ
map	[mæp]	マップ	] マップ
March	[mɑ:(r)tʃ]	マーチ	] マーチ
mark	[mɑ:(r)k]	マーク	] マーク
market	[mɑ:(r).kɪt]	マーケット	] マーケット
mass	[mæs]	マス	] マス
match	[mætʃ]	マッチ	] マッチ
mental	[mén.tl]	メンタル	] メンタル
message	[més.ɪdʒ]	メッセージ	] メッセージ
metal	[mét.l]	メタル	] メタル
method	[méθ.əd]	メソッド	] メソッド
metre	[mí:.tə(r)]	メートル	] メートル
middle	[míd.l]	ミドル	] ミドル
mile	[máɪl]	マイル	] マイル
milk	[mɪlk]	ミルク	] ミルク
mirror	[mír.ə(r)]	ミラー	] ミラー
miss	[mɪs]	ミス	] ミス
mistake	[mɪstéɪk]	ミステイク	] ミステイク
model	[má:d.l]	モデル	] モデル
modern	[má:.də(r)n]	モダン	] モダン
monkey	[mʌŋ.ki]	マンキー	] マンキー
morning	[mɔ:r.nɪŋ]	モーニング	] モーニング
mother	[mʌð.ə(r)]	マザー	] マザー
motor	[móʊ.tə(r)]	モーター	] モーター
motorcycle	[móʊ.tə(r).sàɪ.kl]	モーターサイクル	] モーターサイクル
mouse	[máʊs]	マウス	] マウス
move	[mu:v]	ムーヴ	] ムーブ
music	[mjú:.zɪk]	ミュージック	] ミュージック
mystery	[mís.tə.ri]	ミステリー	] ミステリー

□Nで始まるカタカナ語

N n[n-]

語頭のNはすべて[n]と発音する。日本語の場合ニの発音の時、舌尖だけでなく、前舌が口蓋につく傾向があるの

で注意したい。

name	[néim]	ネイム	] ネーム
nation	[néi.fn]	ネイションズ	] ネーション
nature	[néi.tʃə(r)]	ネイチャー	] ネーチャー
neck	[nek]	ネック	] ネック
need	[ni:d]	ニード	] ニーズ
nest	[nest]	ネスト	] ネスト
net	[net]	ネット	] ネット
new	[nu:]	ヌー	] ニュー
next	[nekst]	ネークスト	] ネックスト
newspaper	[nú:s.pèi.pə(r)]	ヌースペイパァ	] ニュースペーパー

night	[náit]	ナイト	] ナイト
nine	[nám]	ナインズ	] ナイン
no	[nóu]	ノウ	] ノウ
noise	[nóiz]	ノイズ	] ノイズ
nonsense	[ná:n.sens]	ヌーンセンス	] ナンセンス
note	[nóut]	ノウト	] ノウト
number	[nám.bə(r)]	ナンバァ	] ナンバー
nurse	[nə:(r)s]	ナース	] ナース
nut	[nAt]	ヌアト	] ナット

□Oで始まるカタカナ語

O o[á: ói óu á ə ó:]

母音文字はその読み方が多いが、Oについても同様である。Oの読まれ方は次の6種類である。

1. 「アー」 ox
2. 「オ(イ)」 boy
3. 「オウ」 note
4. 「ア」 son
5. 「ウ」 omit
6. 「オーア」 orange
7. 「ウー」 school
8. 「ウオ」 book
9. 「ウア」 blood

1. <o>[a: アー]

office	[á:.fis]	アーウ [○] イス	] オフィス
opera	[á:.pə.rə]	アーパラァ	] オペラ
operate	[á:.pə.rèit]	アーパウレイト	] オペレート
origin	[á:.rɪ.dʒɪn]	アーウリゲンズ	] オリジン

2. <oi>[ói オイ]

oil	[ói]	オイウ	] オイル
-----	------	-----	-------

3. <o>[óu オウ]

old	[óuld]	オウウド	] オールド
open	[óu.pn]	オウブンズ	] オウブン
own	[óun]	オウンズ	] オウン

4. <o>[ʌ]

onion	[ʌn.i.ən]	アネイアンズ	] オニオン
other	[ʌð.ə(r)]	ウアザァ	] アザー

5. <o>[ə ウ]

omit	[ə.mít]	ウミエト	] オミット
opinion	[ə.pín.i.ən]	ウビエネイアンズ	] オピニオン

6. <o>[ɔ: オー]

orange	[ɔ:r.ɪ ndʒ]	オーウリエンヂュ	] オレンジ
order	[ɔ:(r).də(r)]	オーアダァ	] オーダー
organization	[ɔ:(r).gə.nɪ.zéi.fn]	オーガネイゼイションズ	] オーガニゼーション
organize	[ɔ:(r).gə.nàiz]	オーアガナイズ	] オーガナイズ

7-1. <oo>[u: ウー]

school	[sku:l]	スクーウ	] スクール
food	[fu:d]	ウ [○] ード	] フード
pool	[pu:l]	プーウ	] プール

7-2. <oo>[U ウオ]

book	[buk]	ブ [○] ク	] ブック
hook	[huk]	フ [○] ク	] フック
cook	[k ^h uk]	ク [○] ク	] クック
look	[luk]	スル [○] ク	] ルック

7-3. <oo>[ʌ ウア]

blood	[blʌd]	ブスル [○] アド	] ブラッド
flood	[flʌd]	ウ [○] ル [○] アド	] フラッド

□Pで始まるカタカナ語

P p[p]

Pの後続音は借用語について言えば、

- 1 直ぐ母音が来る場合、
- 2 hが来る場合、
- 3 plの場合、
- 4 prの場合と分ける。

1. <p>[p^h-]

page	[p ^h éidʒ]	ペイヂュ	] ページ
pain	[p ^h éɪn]	ペインズ	] ペイン
paint	[p ^h éɪnt]	ペイント	] ペント
pair	[p ^h eə(r)]	ペア	] ペア
paper	[p ^h éɪ.pə(r)]	ペイパァ	] ペーパー
parallel	[p ^h ær.ə.ləl]	ペア・ウラウ・レウ	] パラレル

park	[p ^h ɑ:(r)k	パ ^h オー ^h ク	] パーク
part	[p ^h ɑ:(r)t	パ ^h オート	] パート
partner	[p ^h ɑ:(r)t.nə(r)	パ ^h オートナ ^h ア	] パートナ ^h ー
party	[p ^h ɑ:(r).ti	パ ^h オー ^h ア ^h ティ	] パーティ
pass	[p ^h æs	ペ ^h ア ^h ス	] パス
pattern	[p ^h æt.ə(r)n	パ ^h アレ ^h ア ^h ン ^h ス	] パタ ^h ン
pause	[p ^h ɑ:z	パ ^h オー ^h ズ	] ポーズ
pay	[p ^h ei	ペ ^h イ	] ペイ
peace	[p ^h i:s	ピ ^h ース	] ピース
pen	[p ^h en	ペン ^h ス	] ペン
pencil	[p ^h én.sl	ペン ^h スウ	] ペンシル
percent	[per.sént	プ ^h セ ^h ント	] パーセント
perfect	[p ^h é:(r).fekt	パ ^h エ ^h 〜ウ ^h エ ^h クト	] パーフェ ^h クト
perform	[pə(r).fó:(r)m	ペ ^h ア ^h ウ ^h オ ^h ーム	] パ ^h フオー ^h ム
period	[p ^h í:r.i.əd	ピ ^h ア ^h ・ウ ^h リア ^h ド	] ピ ^h リオ ^h ド
permanent	[p ^h é:(r).mə.nənt	パ ^h エ ^h 〜マ ^h ヌ ^h ント	] パーマ ^h ネ ^h ント
pet	[p ^h et	ペ ^h エ ^h ト	] ペット
petal	[p ^h ét.l	ペ ^h トウ	] ペタル
piano	[pi.æn.ou	ピ ^h エ ^h ア ^h ノ ^h ウ	] ピア ^h ノ
pick	[p ^h ík	ピ ^h エ ^h ク	] ピック
picture	[p ^h ík.tʃə(r)	ピ ^h エ ^h クチュ ^h ア	] ピクチャ ^h ー
pile	[p ^h áil	パイ ^h ウ	] パイル
pill	[p ^h íl	ピ ^h エ ^h ウ	] ピル
pin	[p ^h ín	ピ ^h エ ^h ン ^h ス	] ピン
pink	[p ^h ínk	ピ ^h エ ^h ン ^h ク	] ピンク
pipe	[p ^h áip	パイ ^h プ	] パイプ
pocket	[p ^h ɑ:ː.kət	パ ^h オー ^h ケ ^h イト	] ポケ ^h ット
point	[p ^h óint	ポ ^h イ ^h ント	] ポイ ^h ント
pole	[p ^h óul	ポ ^h ウ ^h ウ	] ポール
police	[pə.lí:s	パ ^h ス ^h リー ^h ス	] ポリス
pool	[p ^h u:l	プ ^h ー ^h ウ	] プール
popular	[p ^h ɑ:ː.pju.lə(r)	パ ^h ー ^h ピ ^h ユ ^h ウ ^h ・ス ^h ラ ^h ア	] ポ ^h ピ ^h ュラー
position	[pə.zíʃ.n	パ ^h ズ ^h イ ^h エ ^h シ ^h ユ ^h ン ^h ス	] ポ ^h ジ ^h シ ^h ョ ^h ン
positive	[p ^h ɑ:ːzítiv	パ ^h ー ^h ズ ^h イ ^h ティ ^h ヴ	] ポ ^h ジ ^h ティ ^h ヴ
post	[p ^h óust	ポ ^h ウ ^h スト	] ポス ^h ト
potato	[pə.t ^h ei.tou	プ ^h テ ^h イトウ	] ポテ ^h ト
powder	[p ^h áu.də(r)	パウ ^h ダ ^h ア	] パウ ^h ダー
power	[p ^h áu.ə(r)	パウ ^h ア	] パワ ^h ー
public	[p ^h áɪb.lík	プ ^h ア ^h プ ^h ス ^h リ ^h エ ^h ク	] バ ^h ブ ^h リ ^h ック
publish	[p ^h áɪb.líʃ	プ ^h ア ^h プ ^h ス ^h リ ^h シ	] バ ^h ブ ^h リ ^h ッ ^h シュ
push	[p ^h uʃ	プ ^h ア ^h シ ^h ユ	] プッ ^h シ ^h ユ

2. <ph>[f- ウ^h]

phrase	[fréiz	ウ ^h ウ ^h レイ ^h ズ	] フレー ^h ズ
--------	--------	---	----------------------

3. <pl>[p^hl- プ^hス^hル]

plan	[p ^h læn	プ ^h ス ^h レア ^h ン ^h ス	] プラ ^h ン
planet	[p ^h læn.et	プ ^h ス ^h レア ^h ネ ^h イト	] プラ ^h ネ ^h ット
plant	[p ^h lænt	プ ^h ス ^h レア ^h ン ^h ト	] プラ ^h ン ^h ト
plastic	[p ^h læs.tík	プ ^h ス ^h レア ^h ス ^h ティ ^h ク	] プラ ^h ス ^h ティ ^h ック
plate	[p ^h léit	プ ^h ス ^h レイ ^h ト	] プレ ^h ー ^h ト

4. <pr>[pr- プ^hル]

practical	[p ^h ræk.tíkəl	プ ^h ウ ^h レア ^h ク ^h ティ ^h ク ^h ウ	] プラ ^h ク ^h ティ ^h カル
practice	[p ^h ræk.tis	プ ^h ウ ^h レア ^h ク ^h ティ ^h ス	] プラ ^h ク ^h ティ ^h ス
present	[p ^h réz.nt	プ ^h ウ ^h レ ^h ズ ^h ン ^h ト	] プレ ^h ゼ ^h ン ^h ト
press	[p ^h res	プ ^h ウ ^h レ ^h エ ^h ス	] プレ ^h ス
price	[p ^h ráis	プ ^h ウ ^h ライ ^h ス	] プライ ^h ス
pride	[p ^h ráid	プ ^h ウ ^h ライ ^h ド	] プライ ^h ド
process	[p ^h róu.ses	プ ^h ウ ^h ロ ^h ウ ^h セ ^h ス	] プロ ^h セ ^h ス
produce	[prə.dú:s	プ ^h ウ ^h ラ ^h ド ^h ウ ^h ース	] プロ ^h ジ ^h ュース
profit	[p ^h rá:ːfit	プ ^h ウ ^h ラー ^h ウ ^h イ ^h ト	] プロ ^h フイ ^h ット
program	[p ^h róu.græm	プ ^h ウ ^h ロ ^h ウ ^h グ ^h ウ ^h レア ^h ム	] プロ ^h グ ^h ラム
protect	[prə.t ^h ekt	プ ^h ウ ^h ラ ^h テ ^h クト	] プロ ^h テ ^h クト
proud	[p ^h raud	プ ^h ウ ^h ラ ^h ウド	] プラ ^h ウド

□Qで始まるカタカナ語

Q qu[kw- クウ]

Qの文字の特徴は語頭では常にuを伴うということである。(参考:頭字語のQANTAS, 国名のQatarは例外)。発音は常に円唇を伴う。

quality	[kwá:ːlə.ti	ク ^h ワー ^h ウ ^h ・ス ^h ラ ^h ティ	] クオ ^h リ ^h ティ
queen	[kwi:n	ク ^h ウィ ^h ーン ^h ス	] クイ ^h ーン
question	[kwés.tʃn	ク ^h ウ ^h エ ^h ス ^h チュ ^h ン ^h ス	] クエ ^h ス ^h チ ^h ョ ^h ン
quick	[kwík	ク ^h ウィ ^h エ ^h ク	] クイ ^h ック

□Rで始まるカタカナ語

R [r- ウル]

語頭のrは例外なくrと発音される。母音文字とrが結びとr-coloring, つまり, r帯色音が表れる。このrはrそれ自体ではなくrの特色を先行する母音に色づけすることになる。以下のリストはrで始まる語の借用語である。なお, rhも[r]の発音である。

1. r[r- ウル]

rabbit	[ráɪb.ɪt	ウ ^h レア ^h ベ ^h イト	] ラ ^h ビ ^h ット
race	[réis	ウ ^h レイ ^h ス	] レース
radio	[réi.di.ou	ウ ^h レイ ^h ディ ^h オウ	] ラジ ^h オ

railway	[réɪl.weɪ]	ウレイウウェイ	] レールウエー
rain	[réɪn]	ウレインズ	] レーン
range	[réɪndʒ]	ウレインヂュ	] レレンジ
rank	[ræŋk]	ウレアंक	] ランク
react	[ri.ækt]	ウリエアクト	] リアクト
real	[ri:əl]	ウリアウ	] リアル
receive	[ri.sí:v]	ウリスイーヴ	] リシーブ
record	[ri.kʰɔ:(r) d]	ウリコーアド	] リコード
red	[red]	ウレ ^エ ド	] レッド
regular	[rég.ju.lə(r)]	ウレギユウ ^ス ラア	] レギュラー
relax	[ri.læks]	ウリ ^ス レアックス	] リラックス
rent	[rent]	ウレント	] レント
repeat	[ri.pʰí:t]	ウリピート	] リピート
report	[ri.pʰɔ:(r) t]	ウリポート	] リポート
request	[ri.kʰwést]	ウリクウエスト	] リクエスト
restaurant	[rés.trənt]	ウレスタウラント	] レストラン
return	[ri.tʰɔ:(r) n]	ウリタ ^エ ヘンズ	] リターン
reward	[ri.wɔ:(r) d]	ウリウオーアド	] リウワード
rice	[ráis]	ウライス	] ライス
ride	[ráɪd]	ウライド	] ライド
right	[ráɪt]	ウライト	] ライト
ring	[rɪŋ]	ウリング	] リング
risk	[risk]	ウリスク	] リスク
road	[róud]	ウロウド	] ロード
rock	[rɑ:k]	ウラ ^オ ーク	] ロック
romance	[rou.mæns]	ウロウメアンス	] ロマンズ
roof	[ru:f]	ウルーウ ^オ	] ルーフ
room	[ru:m]	ウルーム	] ルーム
root	[ru:t]	ウルート	] ルート
rope	[róup]	ウロウプ	] ロープ
rose	[róuz]	ウロウズ	] ローズ
round	[ráund]	ウラウンド	] ラウンド
route	[ru:t]	ウルート	] ルート
royal	[róɪ.əl]	ウロイアウ	] ロイヤル
rubber	[rʌb.ə(r)]	ウラバア	] ラバー
rule	[ru:l]	ウルーウ	] ルール
run	[rʌn]	ウランズ	] ラン

2. rh[r- ウル]

rhythm	[rɪð.m]	ウリ ^エ ズム	] リズム
--------	---------	--------------------	-------

□Sで始まるカタカナ語

S s[s]

sの文字は[s]と発音されるので、日本語の「ス」とほぼ同

じと考えてよい。ただし、sの後にhがつくと音が変わり[f]になる。ごく少ない例だが、sch-となると[sk-]となる。

1. <s>[s- ス]

safe	[séɪf]	セイウ ^オ	] セーフ
sail	[séɪl]	セイウ	] セール
salad	[sæɪl.əd]	セア ^ス ラド	] サラド
sale	[séɪl]	セイウ	] セール
salt	[sɑ:lt]	サ ^オ ーウト	] サルト
sand	[sænd]	セアンド	] サンド
sauce	[sɑ:s]	サ ^オ ース	] ソース
science	[sáɪ.əns]	サイアンス	] サイエンス
score	[sko:(r)]	スコア	] スコア
screen	[skri:n]	スクウリーンス	] スクリーン
screw	[skru:]	スクウルー	] スクリュー
search	[sə:(r) tʃ]	サ ^エ 〜チュ	] サーチ
season	[sí:zn]	スィーズンズ	] シーズン
seat	[si:t]	スィート	] シート
second	[séɪk.nd]	セークンド	] セカンド
send	[send]	センド	] センド
separate	[séɪp.ə.rèɪt]	セバウレイト	] セパレート
series	[sí:ri:z]	スィウリイズ	] シリーズ
serve	[sə:(r) v]	サ ^エ 〜ヴ	] サーブ
set	[set]	セ ^エ ト	] セット
seven	[séɪv.n]	セヴンズ	] セブン
sex	[seks]	セ ^エ ックス	] セックス
side	[sáɪd]	サイド	] サイド
sign	[sáɪn]	サインズ	] サイン
signal	[síɟ.nɪ]	スイグヌウ	] シグナル
silk	[sɪlk]	スィウク	] シルク
silver	[sɪl.və(r)]	スィ ^エ ウヴァ	] シルバー
sing(er)	[síŋ.ə(r)]	スィ ^エ ンゲ(ア)	] シンガー
single	[síŋ.gl]	スィ ^エ ンゲウ	] シングル
sister	[sístə(r)]	スィ ^エ スタア	] シスター
six	[sɪks]	スィ ^エ ックス	] シックス
size	[sáɪz]	サイズ	] サイズ
skill	[skɪl]	スキ ^エ ウ	] スキル
skin	[skɪn]	スキ ^エ ンズ	] スキン
skirt	[skɔ:(r) t]	スカ ^エ 〜ト	] スカート
slang	[slæŋ]	ス ^ス レアンゲ	] スラング
sleep	[sli:p]	ス ^ス リープ	] スリープ
slide	[sláɪd]	ス ^ス ライド	] スライド
slow	[slóu]	ス ^ス ロウ	] スロー
smell	[smel]	スメウ	] スメル
smile	[smáɪl]	スマイウ	] スマイル

small	[smɑ:l]	スマーウ	] スモール
smooth	[smu:ð]	スムーズ	] スムーズ
snow	[snóu]	スノウ	] スノー
soap	[sóup]	ソウブ	] ソウブ
social	[sóu.ʃl]	ソウシュウ	] ソウシャル
society	[sə.sáɪ.ə.ti]	スサイアティ	] ソサイティー
sock	[sɑ:k]	サーク	] ソックス
soft	[sɑ:ft]	サォウ°ト	] ソフト
song	[sɑ:ŋ]	サォンゲ	] ソング
sand	[sáund]	サウンド	] サンド
soup	[su:p]	スープ	] スープ
space	[spéis]	スペース	] スペース
speech	[spi:tʃ]	スピーチュ	] スピーチ
speed	[spi:d]	スピード	] スピード
spell	[spel]	スペウ	] スペル
spin	[spɪn]	スピエンズ	] スピン
spirit	[spír.ɪt]	スピウリ°ト	] スピリット
sport	[spɔ:(r)t]	スポーアト	] スポーツ
spot	[spɑ:t]	スポート	] スポット
spring	[sprɪŋ]	スプウリング	] スプリング
stage	[stéɪdʒ]	ステイヂュ	] ステージ
stamp	[stæmp]	ステアムブ	] スタンプ
stand	[stænd]	ステアンド	] スタンド
station	[stéɪ.ʃn]	ステイシュンズ	] ステーション
statue	[stætʃu:]	ステアチュー	] スタチュー
stay	[stéɪ]	ステイ	] スター, ステイ
steam	[sti:m]	ステイーム	] スチーム
step	[step]	ステ°ブ	] ステップ
stick	[stɪk]	ステイク	] スティック
stone	[stóun]	ストウンズ	] ストーン
stop	[stɑ:p]	スターブ	] ストップ
store	[stɔ:(r)]	ストーア	] ストア
storm	[stɔ:(r)m]	ストーアム	] ストーム
story	[stɔ:ri]	ストーウリイ	] ストーリー
straight	[stfréɪt]	スチュレイト	] ストレート
stress	[stfres]	スチュレス	] ストレス
string	[stfrɪŋ]	スチュリエンゲ	] スtring
structure	[stfrÁk.tʃə(r)]	スチュラクチュア	] ストラクチャー
student	[stú:.dənt]	ストウーダント	] スチューデント
study	[stÁd.i]	スタデイ	] スタデー
style	[stÁɪl]	スタイウ	] スタイル
sugar	[súg.ə(r)]	シュガァ	] シュガー

suit	[su:t]	スート	] スーツ
summer	[sÁm.ə(r)]	サマァ	] サマー
sun	[sAn]	サンズ	] サン
support	[sə.pʰɔ:(r)t]	サポーアト	] サポート
sweet	[swi:t]	スウィート	] スイート
swim	[swɪm]	スウィエム	] スイム
switch	[swɪtʃ]	スウィチュ	] スイッチ
symbol	[sím.bl]	スイムブウ	] シンボル
system	[sís.təm]	スイスタム	] システム

2. <sh>[ʃ- シュ]

shake	[féɪk]	シュエイク	] シェイク
shape	[féɪp]	シュエイプ	] シェイプ
share	[feə(r)]	シュエァ	] シェァ
sharp	[fɑ:(r)p]	シュアア°ブ	] シャープ
shirt	[fə:(r)t]	シュア°〜ト	] シャツ
shock	[fɑ:k]	シュアーク	] ショック
shoe	[fu:]	シュー	] シュー
shoot	[fu:t]	シュート	] シュート
shop	[fɑ:p]	シュア°ーブ	] ショップ
short	[fɔ:(r)t]	シュオア°アト	] ショート
show	[fóu]	シュオウ	] ショー
shy	[fái]	シュアイ	] シャイ

3. <sch>[sk- スク]

school	[sku:l]	スクーウ	] スクール
--------	---------	------	--------

□Tで始まるカタカナ語

T [t]

tの文字は語頭または音節頭で[tʰ]と発音する。後にhがつくと歯間音になり、有声歯間音が無声歯間音になる。母音間に挟まれたtは弾き音(flap)になるが、この表には表れない。trの音は例えば、tryが「チュライ」に近くなるように、tとrの間には母音が入らない。

1. <t>[tʰ- トウ]

table	[tʰéɪ.bl]	タイプウ	] テーブル
taboo	[tə.bú:]	タブー	] タブー
taste	[tʰéɪst]	テイスト	] テースト
tax	[tʰæks]	テアックス	] タックス
tea	[tʰi:]	ティー	] ティー
teach	[tʰi:tʃ]	ティーチュ	] ティーチ
team	[tʰi:m]	ティーム	] ティーム
technical	[tʰék.nɪ.kl]	テクネイクウ	] テクニカル
telephone	[tʰél.ɪ.fòun]	テヌラウ°オウンズ	] テレフォン

television	[t ^h él.ə.vɪʒ.ən]	テスラヴィジユンズ	]	テレビジョン
ten	[t ^h en]	テンズ	]	テン
tennis	[t ^h én.ɪs]	テネイス	]	テニス
test	[t ^h est]	テスト	]	テスト
text	[t ^h ekst]	テキスト	]	テキスト
ticket	[t ^h ɪk.ət]	ティケイト	]	チケット
title	[t ^h áɪ.tl]	タイトウ	]	タイトル
tobacco	[tə.bæ.k.ou]	タバエコウ	]	タバコ
toilet	[t ^h ɔɪ.lət]	トイヌラト	]	トイレット
top	[t ^h ɑ:p]	タオープ	]	トップ
total	[t ^h óu.tl]	トウトウ	]	トータル
touch	[t ^h ʌtʃ]	トゥアチュ	]	タッチ
tower	[t ^h áU.ə(r)]	タウア	]	タワー
town	[t ^h áun]	タウンズ	]	タウン
tube	[t ^h u:b]	トゥーブ	]	チューブ
turn	[t ^h ə:(r)n]	タエ〜ンズ	]	ターン
two	[t ^h u:]	トゥー	]	ツー
type	[t ^h áɪp]	タイプ	]	タイプ
tyre	[t ^h áɪ.ə(r)]	タイア	]	タイア

2. <th>[θ- ス]

thanks	[θæŋks]	スエアンクス	]	サンクス
theatre	[θɪ:.ə.tə(r)]	スイアタア	]	シアター
theory	[θɪ:.ə.ri]	スイア・ウリイ	]	セオリー
third	[θə:(r)d]	スアエ〜ド	]	サード
three	[θri:]	スリー	]	スリー

3. <th>[ð- ズ]

this	[ðɪs]	ズイス	]	ズイス
that	[ðæt]	ズエアト	]	ザット
they	[ðeɪ]	ズエイ	]	ゼー
with	[wɪð]	ウウィエズ	]	ウィズ
father	[fá:ðə(r)]	ウ°アオーズア	]	ファーザー

3. thは例外的に[t]と発音されることがある。固有名詞に多い。

例:The river Thames[t^hemz], Thompson[t^há(:)mp.sn]

4. <tr>[t^hr-]

track	[t ^h fræk]	チュレアク	]	トラック
trademark	[t ^h fréɪd.m.ə:(r)k]	チュレイドマーアク	]	トレードマーク
train	[t ^h fréɪn]	チュレインズ	]	トレイン
travel	[t ^h fræv.l]	チュレアウ	]	トラベル
tree	[t ^h fri:]	チュリー	]	ツリー

trial	[t ^h fráɪ.əl]	チュライアウ	]	トライアル
trick	[t ^h frɪk]	チュリエック	]	トリック
trouble	[t ^h frʌb.l]	チュラフウ	]	トラブル
truck	[t ^h frʌk]	チュウアック	]	トラック
trust	[t ^h frʌst]	チュウアスト	]	トラスト
try	[t ^h fráɪ]	チュライ	]	トライ

□Uで始まるカタカナ語

U u[u: Λ]

Uの後が子音+母音の音節構造だと、Uはアルファベットの呼称音になる。一方、Uの後が子音だけだと、基本音の[Λ, ア]になる。

1. <u>[ju: ユウー]

uniform	[jú:.nə.fɔ:(r)m]	ユウーナウ°オーム	]	ユニフォーム
unit	[jú:.nɪt]	ユウーネイト	]	ユニット
universe	[jú:.nɪ.və:(r)s]	ユウーネイヴァエ〜ス	]	ユニバース

2. <u>[Λ ウア]

up	[ʌp]	ウアプ	]	アップ
----	------	-----	---	-----

□Vで始まるカタカナ語

V v[v-]

Vで示される音は例外なく、すべて[v, ヴ]になる。しかし、日本語になるとvは全て[b, ブ]になる。

variety	[və.ráɪ.ə.ti]	ヴ・ウライアリイ	]	バラリエター
virus	[váɪ.ə.rəs]	ヴァイ・アラス	]	ビールス

□Wで始まるカタカナ語

W w[w- ウウ] wh[hw- フウ]

Wで示される音は文字通り[w, ウウ]である。Wの後にHが続くとその発音は[hw, ホウ]になる。ただしイギリス英語ではどちらも区別せず、[w]になることが多い。

1. <w>[w- ウウ]

walk	[wa:k]	ウワオーク	]	ウォーク
wall	[wa:l]	ウワオーウ	]	ウォール
watch	[wa:tʃ]	ウワオーチュ	]	ウォッチ
water	[wá:.(tə(r))]	ウワオータア	]	ウォーター
waterproof	[wá:.(tə(r)).prù:f]	ウワオータアプウルーウ°	]	ウォータープルーフ
wave	[wéɪv]	ウェイヴ	]	ウェーブ
weak	[wi:k]	ウィーク	]	ウィーク
weekend	[wí:k.end]	ウィークエンド	]	ウィークエンド
welcome	[wél.kəm]	ウェウクアム	]	ウェルカム

west	[west]	ウエスト	] ウエスト
we	[wet]	ウエ ^エ ト	] ウエット
wide	[waɪd]	ウワイド	] ワイド
wife	[waɪf]	ウワイウ ^フ	] ワイフ
window	[wɪn.dəʊ]	ウィンドウ	] ウィンドー
wine	[waɪn]	ウワイン ^ズ	] ワイン
wing	[wɪŋ]	ウウ ^エ イング	] ウイング
winter	[wɪn.tə(r)]	ウィ ^エ ンタ ^ァ	] ウィンター
wire	[waɪr]	ウワイ ^ア	] ワイア
work	[wɜ:(r)k]	ウ ^ア エ [〜] ク	] ワーク

2. <wh>[hw- フウ]

wheel	[(h)wi:l]	(フ)ウィーウ	] ホイール
whip	[(h)wɪp]	(フ)ウィ ^エ プ	] ウィップ
white	[(h)waɪt]	(フ)ワイト	] ホワイト

□Xで始まるカタカナ語

X x[z ズ]

Xから始まる英語、また英語からの借用語も少ない。

X'masをクリスマスの意味で使われる理由は言語的な根拠があるのではなく、スペースの節約と視覚的に捉えやすいという実際上の理由のようだ。Xは出だしでは[z, ズ]になる。

xylophone [zái.lə.fəʊn ザイ^ヌラウ^フォウン^ズ] シロフォン

□Yで始まるカタカナ語

Y y[j イ]

Yはsystem, cycleなどでは母音の役割をするが、母音文字と結合して二重母音を表すことがある(例:boy, joy)。しかし、Yの後続文字が母音文字であると、Yは半母音文字として働く。

1. <y>[j イ]

yellow	[jél.ou]	イエ ^ヌ ロウ	] イエロー
young	[jʌŋ]	ヤング	] ヤング

□Zで始まるカタカナ語

Z

語頭のZは[z]であって、[dz]ではない。現代日本語では「ジ」と「ヂ」の区別があいまいなために、アルファベットの名称音であるGとZの区別が出来にくい。英語の/z/の音を出すには、日本語の「ス」が子音の継続音であるから、「ス」をまず言ってみて、子音の摩擦継続音の実感を掴んでから、声を加えて「ズズズ」と出せるようにするのがよい。動物園の意味のzooを「ゾー」にならず、「スズー」と

無声音のsから少しずつ声を加えて言えるように練習するのがよい。

Zで始まる英語からの借用語は次の二つである。

1. <z>[z ズ]

zebra	[zí:.brə]	ズイーブラ ^ァ	] ゼブラ
zero	[zí:ə.rəʊ]	ズイー [〜] ロウ	] ゼロ

まとめ

英語からの借用語ともの英語と比較してみると、主に次の6通りに要約される。

1. 音節変化:

子音連結(CCなど)は途中に母音(介入母音)が入り、音節数が増える。

ECCV→JCV.CV.(音節数 2→3)

子音で終わる音節(閉音節)にさらに母音をつけて発音する傾向が強い。

ECVC→JCV.CV

2. 強勢変化:

英語の2音節以上からなる語は強弱か弱強の強弱の差が現れるが、日本語化されると、強弱の差がなくなり、どの音節もほぼ同じ長さと同じ強さになる傾向がある。

E〇— →J〇〇

E—〇 →J〇〇

E〇—〇 →J〇〇〇

3. 音素変化:

英語特有の音素はそれに近い日本語の音素に変わる。

4. 音素対立:

日本語にない英語の音素対立はどちらかに近い日本語の音素とその異音になる。

5. 音素の余剰的特徴(RF):

無声閉鎖音の/p, t, k/が音節頭に来ると帯気音(aspiration)が生じる。また、語末、音節末、または他の破裂音の直前では未開放破裂音(unreleased stop)となる。この2つの余剰的特徴は検定教科書にも学習辞典にも示されておらず、学習者は教科書の発音記号だけに頼っていると語頭のpも語末のpも同じ音であると思いがちである。実際はかなり異なっているので、有聲/無声の対立的特徴でpとbを区別するだけでなく、余剰的特徴についても気をつけて欲しいものである。Roach教授の講演でprayをpの余剰的特徴の一つである帯気音を用いないで発音すると、ネーティブの耳にはbray(驢馬の鳴き声)に聞こえると言って警告した(1997年7月 ELECでの講演)。

6. 文字の影響:

英語の文字に影響され、ローマ字読みにする傾向がある。

ただし、耳から入った英語はその音声に近い日本語になる。これらの変化は綴り字、IPA+, 近似カナ表記の3段階表示によって、日英語の音声形態の特徴が掴める。またそれによって、日本語の特徴をどのように変更すれば十分通じる英語ができるかということが明らかになる。その意味でこれらの語をきっかけにして英語らしい発音を心がけるように要望したい。

ただし、今回の調査は音節頭 (onset) と音節核 (nucleus) に限って行ったので、音節末尾 (code) については部分的にしか取り上げていない。より体系的な追求が今後の課題として残された。ただ、当初の課題だった音声と文字の関係が近似カナ表記を用いることによってより明白になったのではないかと思う。

終わりに

今や英語は15億人が駆使している世界語である。好き嫌いにかかわらず、英語で世界の重要な情報が行き来しているのである。日本には英語音声学研究の伝統があり、100年以上の英語教育の歴史がある。国際通用語という新

たな視点から見直し、日本語との隔たりを近似カナ表記によって埋め、国際英語、近似カナ表記、日本語という3つの立場から、言語生活の新たな世界を構築したいものである。この拙論がそのために役立てれば幸いである。

参考文献

- Francis, N. (1965), *The English Language an Introduction Background for writing*. Norton
- Jenkins, J. (2000), *The Phonology of English as an International Language*. OUP
- Procter, Paul (1995), *Cambridge International Dictionary of English*. CUP
- Roach, Peter. (1997), *The Daniel Jones English Pronouncing Dictionary*. 15th edition. CUP
- Shimaoka, Takashi, Satoshi Mikami, and Mari Lepavoux [島岡丘, 三上司, レバヴァーマリ] (1998, 2000, 2002), *EPTA Bulletin*. English Pronunciation and Transcription Association. Ibaraki Christian University
- Shimaoka, Takashi [島岡丘] (1999), 『カタカナで通じる英語の発音』, 日本能率協会
- Shimaoka, Takashi [島岡丘] (2002), 『カタカナで完全マスター英会話』, 丸善
- Wells, John C. (2000), *Longman Pronunciation Dictionary*. Longman